

特定非営利活動法人子どもへのまなざし 設立趣旨書

「子どもはあそぶのが仕事」と言われるように『子ども時代』にどのように遊んだかによって、人としての土台がつけられるといっても過言ではありません。子どもは「あそび」の中でたくさんの体験を重ね成長していくのです。

しかし、近年、子どもの「あそび」が大きく変わりました。乳幼児のころから「けんかしちゃダメ」「取りっこしないの」「汚しちゃダメ」「危ないでしょ」「いい子にして」と大人の都合やルールを押しつけられ、あそびを制限されています。また、早期教育とばかりに習い事に通い、自由に遊べる時間が少なく、友達関係までも、大人がコントロールしてしまいます。異年齢の集団で遊ぶ機会もありません。子どもの「あそび」を、大人が受け身なものにしてしまい、体験を奪っていると感じます。体験することで自然と身に付けたことと、頭だけで理解させたこととは、全く質が違います。「相手の気持ちを考えられない」「本当の痛みを知らない」「失敗した経験が少なくそれを乗り越える力が乏しい」「なんでも人のせいにする」など子ども達の体験不足からくる未熟さが心配されています。それが、さまざまな社会問題にもつながっています。

「あそび」は、大人の都合でコントロールされるものではありません。汚したり、うるさくしたり、小さなケガは、つきものです。たっぷりとした時間の中で、子ども自身が主人公になって、仲間とぶつかったり、工夫したり、協力しあっていくものです。そこで、子どもたちは、本物の体験を積み重ね成長していきます。

私たちは、子どもたちにとって必要な居場所とは何かを考え、もっと自然の中でたっぷり遊ぼう！と「仲田の森で遊ぼう会」を開催してきました。そこで、たくさんの人が子どもを豊かな自然の中でのびのびと遊ばせたい、と思っていることがわかりました。しかし、親世代にもすでに経験がなく、どうやってすごせばいいのかわからないのです。何もない自然の中で、子ども自身が「あそび」をみつける姿、夢中になって遊ぶ姿を見て、まわりの目や社会のさまざまな情報の中で、どれだけ子どもの「あそび」を制限してきたかに気付いていきました。また、そこで、子育て中であっても、サービスを受けるだけの立場ではなく「地域の子どもたちのために活動したい」と思っているお母さんたちに出会いました。このような気持ちをもつ人をたくさん育てることができれば、子育てを支える大きな力になるはずです。

私たちは、子育て中の人とともに、子どもたちを『子ども時代』の主人公として、ありのままを受け止め、あたたかいまなざしで支えていく活動をします。そして「次の時代を生きる子どもたちにとって大切なこと」を第一に考える社会の実現に貢献するために、「特定非営利活動法人子どもへのまなざし」を設立します。

子どもと子育て中の人をはじめ、広く一般市民を対象に、下記の活動をします。

- ①「子どもが主人公の居場所」の設置・運営事業
- ②「親子で育ちあう場」の設置・運営事業
- ③ 子どもがいるからつながる人の輪（新しい地域概念）の促進事業
- ④ 同じ目的をもつ個人や他団体との協働事業
- ⑤「次の時代を生きる子どもたちにとって大切なこと」についての情報発信事業

以上

平成21年1月31日

代表者 住所 東京都日野市東豊田4丁目13番地の1
氏名 中 川 ひ ろ み